



# 学院時報

No.93

令和元年10月1日発行

## 聖ドミニコ学院

幼稚園・小学校  
中学校・高等学校

〒980-0874  
仙台市青葉区角五郎2-2-14  
URL: <http://www.dominic.ac.jp>  
TEL 022(222)6337  
FAX 022(221)6203

北仙台幼稚園  
〒981-0914  
青葉区堤通雨宮町11-11  
TEL・FAX 022(234)3615

### 「はじめての長崎紀行」

理事長兼中学校高等学校 校長

小笠原朋之



東北地区カトリック小中高連盟の会長として、六月二十日に行われた日本カトリック小中高連盟主催の代表委員会に出席するため、今年六月十九日から一泊二日の日程で初めて長崎市を訪れた。飛行機で福岡まで行き、博多からはJR九州に乗り換えて午後四時前に長崎駅に着いた。浦上天主堂と原爆資料館を駆け足で見学することにした。

長崎駅前から市電に乗り、平和記念公園に行った。浦上天主堂までの行き方を二人の高校生に尋ねると、聖ドミニコ学院にも何度か来ていただいている西神父様が校長を務める長崎南山高校(男子校)の生徒であった。どこから来たのかと聞かれ、「せんだい」と答えたら、そこはどこにあるのかと問われた。宮城県の中心都市であり、人口は一〇〇万人を超える。東北六県のなかでは一番大きな都市であることを説明したが、ピンとこない様子であった。やはり長崎の高校生からしたら異邦人なのか？次に有名な食べ物はないかと尋ねてきた。数分考えたのち、「笹かまぼこ」「ぎゅうたん」を紹介した。「笹かまぼこ」の説明をきいた高校生は

長崎も練り物の町として有名であることを誇らしげに話してくれた。別れ際に福山雅治が高校生の時に通っていた「愚茶橋ラーメン」に行くことを勧めてくれた。(夜この店を訪れ、チャンポンとおでんを食べた。おいしかった。店内には、福山雅治の大きなポスターが貼ってあった。出会った高校生たちに感謝!)親切で、屈託のない高校生たちとの会話に旅の疲れも癒され、活気がみなぎってきた。

浦上天主堂は外観だけだったが、原爆で建物が崩壊した痕跡をみることでできた。原爆資料館には、入館できるぎりぎりの午後五時前に着いた。三十分ほどの見学だったが、原爆の脅威と悲惨さに衝撃を受けた。特に、亡くなった弟を背負った少年が真っ直ぐに前を見つめる「焼き場に立つ少年」の写真の前では、立ちつくすほかなかった。この写真は、アメリカ占領軍のカメラマン ジョセフ・ロジャヤー・オタネル氏が原爆後の長崎で撮影したもので、この少年は、血がにじむほど唇を噛みしめていた。今年十一月に来日予定のローマ教皇フランシスコが「このような写真は千の言葉よりも伝える力がある。」と言われ、世界中に広めるよう呼びかけたことで注目された。

翌日、長崎海星高校での会議がお昼すぎに終了した。帰るもJRと飛行機を乗り継ぐ帰仙の旅。長崎駅発の列車時刻まで間があった。世界文化遺産であり、歴史文化都市・長崎のシンボルである国宝「大浦天主堂」

とグラバー園を見学した。大浦天主堂では、ボランティアのスーさん(鈴木さん)にマンツーマンで案内していただいた。柔らかな語り口で、「大浦天主堂」物語を話していただき、ここでも長崎の方の親切に出会った。この後は、大急ぎで改修中のグラバー園を見て回り、市電で長崎駅に向かった。長崎は、市電が交通の足となっている。運賃は全線均一130円。一日乗車券は500円。長崎市内なら市電で観光できることがわかった。長崎市は大きな町ではないが、見所は満載。今年度から高校二年生の修学旅行は長崎になる。事前学習を重ねて自分の足で長崎を巡り、この機会に新たな発見をし、おおいに視野を広めてください。



「焼き場に立つ少年」

### 啐 啄

剣道部顧問 若松 実

私達剣道部は昨年、創部始まって以来初めて、三重県で行われたインターハイに出場させて頂きました。やはり一回優勝すればまた次も



と思ってしまうもので、今年も何とんでもインターハイに出場したいと思っただけに励んでいました。結果、個人戦では一人インターハイに出場することになりましたが、団体戦では決勝戦で代表戦の末に敗退しました。三年生一人で一年間チームを引っ張り、ここまでやってきた主将には、本当によく頑張ったと心から思います。剣道は人間形成の道であると言われています。高校生のものつ無限の可能性に挑戦しているわけですが、一番の目標は社会に出たときに機転の利く人間で思いやりがあり、協調性を持ち、信頼される心を育てたいと私自身も自分に矢印を向けて共に頑張っています。

### 聖書のこぼれ

「キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。…神は、キリストを通して私たちを御自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務を私たちに授けられました。」(コリントの信徒への手紙、5章17、18節)

フランス滞在の折、パリ郊外の修道院を訪れた。広大な敷地内の館には一〇五名の移民を受け容れている。そこで六十年の日本の宣教を終えて今年帰国した一姉妹とも再会した。また、滞在の終わりに、祖国を追われた中央アフリカ共和国の神学生と出会った。約七年前の内戦では大惨事が組織的に繰り返され、今年二月の平和協定にも関わらず違法軍が北部の停戦を破っているという。たしか私たちの電子機器になくはならない稀少金属ははじめ多くの天然資源が採れる国である。彼、曰く「平和を築き、国を建設することが急務ですが、最も大切なのは和解です。」「和解とは尊い恵みである。たいがい武器を取る人々は怖れを抱き、より良い解決法が見いだせないのだ。しかし、もはや恐れに支配されていない人々は平和への創造的想像を自由に手に入れるべきだ」(モルトマン)と。

教皇フランシスコは「真の発展は、受容的であることです。それは世界の全ての人々を加え、彼らの統合的成長を促し、未来の世代を考えることです。」と。

Sr. 柚木 洋子



# 幼稚園

## 親子遠足

令和元年になり、初めての行事になった親子遠足は天気にも恵まれ、気持ちの良い青空の下行うことができました。今年も現地集合解散となり、保護者の方と共に七北田公園に集まる子ども達は嬉しそう！全員集まるとまずはいいお顔で写真撮影をして、親子で触れ合い体操をしました。動物になりきったり、聖歌「僕の心の中」に合わせて踊ったり、短い時間ではありますが、保護者の方と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。その後は、お待ちかねの自由遊び！幼稚園にはない巨大な遊具に子ども達は興味津々！思いっきり体を動かし、元気いっぱい遊ぶことができました。沢山遊んだ後は、美味しいお弁当の時間です。保護者や友達と外で食べるご飯は格別☆昼食を食べている子ども達の顔はとっても素敵な笑顔でしたよ。

あっという間に帰りの時間となり、名残惜しいですがクラス毎お散歩をしながら解散です。また来年の遠足もお楽しみに♡



## ドミニコパザー

保護者の会 会長 柴田 千里  
六月二十九日(土)、令和元年初の「ドミニコパザー」が開催されました。

今年度は例年より縮小開催となりましたが、足元の悪い中多くの方々にご来園いただき、大盛況になりました。した事を心より感謝申し上げます。

パザー委員さんの企画運営してくださった子どもがお買いものを体験出来ることもおかいものコーナー、三つのゲームを楽しむゲームコーナー、各家庭からご提供いただいた手作り品を含む日用品コーナー、大人気の水ヨーヨー釣れる先生コーナー、卒園生保護者様にお手伝いいただいた食品コーナー。どのコーナーも素晴らしい、子ども達の楽しそうな笑顔を見て、達成感を味わうことが出来ました。

多くの方々に支えられたドミニコパザーを無事に終了出来ました事に、拝謝申し上げます。



## マリア組

マリア組は、六月から三名でスタートしました。初めは不安な様子でしたが、友達とも仲良くなり、毎日楽しくのびのびと過ごしています。マリア組は、お誕生日の翌日から入園が可能になっており、身支度の仕方や衣服の着脱などをゆったりとした時間の中で覚えることができます。少ない人数だからこそ、教師が常に近くにいる保育が成り立っています。ここで可愛いエピソードを紹介いたします。転んでしまった子がおり、教師が「痛い痛い飛んでいけ」と励ましていると言っていると、心配になった二人も「飛んでいけ」と言ってくれる素敵なお友達がいました。お互いに気にし合う仲で、仲間意識が高まっています。サブクラスといって、他の四クラスに遊びに行くこともあり、年上の友達に刺激を受けながら過ごす事もあります。毎日、子ども達は

少しずつできる事も増え、友達や教師の存在の大切さにも気づいていきながらマリア組は充実した時間を過ごしています。



## プール

今年もプールの季節がやってきました。昨年よりも一学期に入った回数には少なかったですが、今日はプールに入るよの声に子ども達は大喜びで、あっという間に準備が終わりです。高校の体操の先生と一緒に入ってもらい、プールの中で楽しく遊ぶことができました。

あまりの楽しさに、子ども達は先生にも水をかけびしょびしょに。もっと遊んでいたいという子もいましたが、水の感触を楽しみながら過ごすことができました。



## 新任紹介

学院の一員として一緒に働かせて頂けることにとても感謝し、光栄に思います。まだまだ未熟者ですが皆様のお力添えの元、日々成長出来るよう精進して参りたいと思います。

千田 聖菜  
古澤 麻衣

母校であるドミニコ学院で働かせて頂いていることに喜びを感じています。まだまだ未熟者ですが、頑張りたいと思っていますのでよろしくお願ひします。





# 北仙台幼稚園

## 避難・手渡し訓練

五月二十四日に幼稚園で避難・手渡し訓練を行いました。今回は地震が起きたと想定し、園庭に避難をする訓練です。

避難訓練の前に紙芝居などを通して、災害の怖さや、もし地震が起こったらどうすれば良いのかを学びました。また「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」の四つのお約束を覚えさせました。

いよいよ、訓練開始です。子どもたちは防災頭巾をしつかり被り、先生の指示をよく聞いて素早く逃げる事が出来ました。とても立派でした。

子どもたちの訓練後には、自宅や職場から幼稚園までどのくらいの時間でお迎えに来ることが出来るかを調べる保護者の方の手渡し訓練も行いました。

このような訓練を大切に、日々安全な保育を心掛けたしたいと思います。



## プールあそび

七月二日、子どもたちが今か今かと待ちわびていたプールに入る事が出来ました！

今年は雨天や晴れていても肌寒い日が続き、なかなかプールに入る事が出来ず、子どもたちは毎日のように「今日はプールに入れる？」「早く入りたい」と話していました。

その為、当日プール遊びが出来ると分かる子どもたちは大喜び！年少児は手や頭に水をかけて水に慣れる事、年中児と年長児は体全体を水につけて泳いだり、お友だちと水をかけ合ったりとプールの活動を楽しむ事が出来ました。入れていなかった分、嬉しさや楽しさが倍増し全力で楽しんでいるようでした。

今年度は二回しか入る事が出来ませんでしたでしたが、来年は晴天の中楽しいプール遊びが出来ると良いですね！



## ドミニコ祭り

六月二十九日、霧雨の降る天候にも関わらず、ドミニコ祭りを行う事ができました。子どもたちは、ヨーヨーつりや宝石すくいなどのゲームコーナーを回ったり、びっくりりへビ作りやおいしい食べ物食べて大はしゃぎ！今年の目玉は、奄美大島から届いたシーグラスやサンゴを使ったフォトフレーム作りで夏を先取り！またステージでは、東北大学芸術部の皆さんによる楽しいマジックショーが開催されました。次々と繰り広げられるマジックに大喜びの子どもたち。未就園児や小学生のお友だちも一緒に楽しんでくれた様です。

四月から準備を重ねて下さった保護者の皆様方のおかげで、子ども達にとって忘れられない一日となり、笑顔が沢山広がった大成功のドミニコ祭りとなりました。保護者の皆様方、ご協力ありがとうございました。



## お泊まり会

七月十二日と十三日の二日間、年長児のお泊まり会が行われました。

初めはJR北仙台駅に集合しました。あいにくの雨でしたが、これからのお泊まり会への期待に満ちたニコニコの笑顔で集まってくれました。

電車に乗って天文台へ行き、プラネタリウムで星について知ることが出来ました。子ども達の願いが届いたのか、雨も上がり外でスイカ割り・カレー作り・フォークダンス・花火大会を行うことができました！

「もう終わりか？」「またお泊まり会したい！」などという声も多く聞こえ、大満足のお泊まり会でした。ちよっぴり寂しかったけれど、一人ひとり貰った賞状を持って帰る後ろ姿は自信に満ちていて、少しお兄さん・お姉さんに近づいていました。



## 祖父母招待

八月二十八日、敬老の日を前に、園児の祖父母の皆様を幼稚園にお招きしました。当日は全国各地から参加して頂き、子どもたちは、大好きなおじいちゃんやおばあちゃんに幼稚園に来てくれたことに大喜びでした。

子どもたちは、この日のために一生懸命練習を重ねてきた歌やダンスを披露しました。年少児は可愛いお面を被ってみんなでダンス！年中児は元気いっぱい大きな声で歌い、年長児は友だちと心を一つに綺麗な歌声を響かせました。祖父母の皆様は子どもたちからのプレゼントに大きな拍手を贈ってくださいました。

学年発表が終わると、次は年長児によるクイズ大会です。難しいクイズを出しながら、祖父母の皆様が幼稚園のことを教えることが出来て、年長児は誇らしげな表情をしていました。





# 小学校

小学校では、たてわりの絆を発揮する場として、一・二年生は「仙台うみの杜水族館」へ遠足に行き、三～六年生は、二泊三日の「花山合宿」を行いました。学校外だからこそ経験できたこと、学べたことが多くあります。子供たちの作文を紹介します。

## うみの杜水族館

### イルカショーをみた すいぞくかん

**一ねん おのでら ゆう**  
 ぼくは、いちねんせいとにねんせいのみんなと、うみのもりすいぞくかんへいきました。さいしよは、すいぞくかんのなかにいるいきものをたくさんみました。それから、いよいよイルカショーです。アザラシがおどり、イルカがおよいだり、ジャンプしたりしていました。

にねんせいには、ずっとやさしかったです。ぼくもにねんせいになったら、いちねんせいのやりたいことをさきにさせてあげられるよになりたいです。

### すいすいおよぐ ペンギン

**一ねん たなか ひろみ**

わたしは、うみのもりすいぞくかんでペンギンをみました。ペンギンは、ペットにしたいくらい、とてもかわいかったです。たのしそうにおよいでいたので、わたしもいっしょにおよぎたくまりました。



「チームからはなれない」というルールをもつて、たのしくすごせました。にねんせいになったら、わたしもリーダーになって、いちねんせいをやさしくお世話したいです。

### こわかった サメ

**二年 高橋 沙月**

わたしは、七月十七日に水ぞくかんへ行きました。今年はお姉さんとして、先生の話をよく聞いて、一年生がこまっているときには教えてあげられるようにがんばりました。

水ぞくかんでサメを見たとき、(このサメをどうやってつかまえたのだろう)とわたしはふしぎにおもいました。魚のぬり絵はできなかつたけれど、お兄ちゃんが作ってくれたおいしいほかほかごはんやあまいおかしをたべ、イルカのショーを見られたことがとても楽しかったし、うれしかったです。

### 楽しかった イルカショー

**二年 坂村 天音**

うみのもり水ぞくかんで一ばん楽しかったです。ことは、魚を見ることでした。水ぞくかんについて、一ばんさいしよにしゃんさつえいをしました。つぎに、魚をたくさん見ました。それから、魚のかたちがかいてある紙に色をぬりました。さいごに、イルカショーを見ました。

イルカショーは、まえに見たときとはちがつて、タカが出てきました。タカはすばやくとんでいて、はく力がありました。それから、イルカとアシカのショーを見ました。一年生といっしょに魚やイルカショーを見ることが、いっしょにおべんとうをたべたことが楽しかったです。



## 花山合宿

三～六年生は二泊三日の花山合宿でした。一日の最後には、振り返りカードを記入しながら次の日の目標を立て、活動に臨みました。最終日の花山合宿全体を振り返っての感想です。

- ①三日間で楽しかったこと
- ②花山合宿を通して学んだこと
- ③花山合宿を通して学校生活に生かしたいこと

**三年 菊田 伶**



①班行動のときは、はぐれないようにするのが少し大変だと思いましたが、なれてくると少しずつ平気になってきました。沢遊びのとき、みんなでお弁当を食べたのが楽しかったです。

②一人になって動くときは良いけれど、班行動のときは他人にあわせて動くことが大事だと知りました。

③なにかまにあわせられるようにしたいです。

**四年 大島 穂香**

①スコアオリエンテーリングは初の山登りではありませんが、去年とコースが違ってほかの楽しさがありました。

②学校ではないときに、自然の家の方やほかのお客さんのことも考えて行動すること。人のためになること。普段の生活も、家の人や先生、友達のことを考え、それをすべて正しいこととして実行することを学びました。

③学校でも人のことを考え、実行し生かしたいです。

**五年 山岡 陽平**

- ①オリエンテーリングやカレー作り、沢登りでチームと協力できたことです。
- ②家からはなれて三日間、団体行動ができて、チームワークや普段の生活では味わえないこともいっぱいできて、自然の楽しさを学びました。
- ③これからも六年生のことを見て今度の花山や学校生活で、六年生がいなくなっても任せられる五年生になりたいです。

**六年 鈴木 莞爾**

①友達と一緒に山を登り、沢を登ったことです。特に野外炊飯でおいしいごはんをつくったことが楽しかったです。カレー作りでは、蒸気がでなくなったら米が炊けるということなど、たくさん知ることができました。

②自然の中は危険なことはたくさんあるけれど、ルールを守れば楽しいと思えました。カレー作りは自分の係だけではなく、終わっていたらほかの係を臨機応変に手伝うことが大切だと感じました。

③下級生の思いを聞いて直すようにしたいです。自然について木の種類や危険な虫などを学んで今後の生活に生かしたいです。



## 新聞づくりで学びを深める

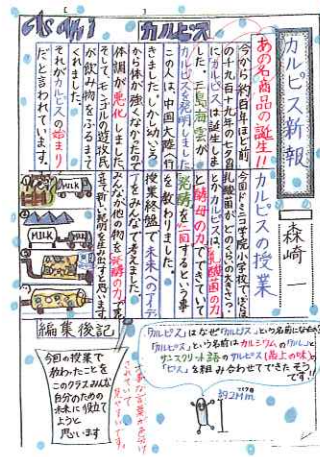
本校では、社会科や国語科などの様々な場面で「学習したことを新聞にまとめる」学習を行っています。見出しを考えたり、決められた枠の中でコンパクトに文を構成したりするを通して、単元での学びを振り返り、深めていくことが目的です。本校の子



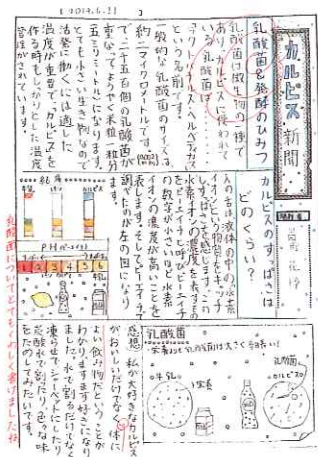
供たちはこの新聞づくりにとても意欲を持っており、読者を惹きつける見出しの付け方や読みやすい文を自ら考え、自分なりの表現を追求しています。

五年生と六年生の児童が作成した新聞を紹介します。

○五年生 アサヒ飲料 カルピス出前授業



○六年生 歴史新聞



新任紹介

一年 副担任 石川 夕夏

私が教員になりたいと強く思うようになったのは中学校の頃です。私の通っていた中学校は、授業中にいない生徒、立ち歩いている生徒がいるのは当たり前。休み時間になると消火器を振り回したり、たばこを吸う生徒がいたり、とても荒れている学校でした。休み時間は逃げるように音楽室でピアノを弾いたり、教室で勉強したり、常に恐怖を感じながら生活していました。

そんな中、学級委員長になり、私なんか相手にされない、どうせ自分ひとりで頑張ることになるとしか考えられない日々が続きました。そんな時、担任がいつも言っていたことが私の背中を押してくれました。「今しかできないことに全力で取り組みなさい。努力は夢を叶える。人から信頼される。」その言葉を信じ、学級みんなが達成感を味わえる楽しい行事づくり、学級みんなとのコミュニケーションに努めました。学級の中の荒れている生徒が、自分の仲間だと考えられるようになり、恐怖の学校生活から、楽しい学校生活に変わりました。

反抗期、思春期の安定しない生徒も、学校行事の時は素直に全力になれる。みんながみんなそうではないかもしれないが、学校の中で自分に素直になれる場所はきつとあると、

私は信じています。

私は音楽を専門に学んできましたが、音楽が本当に嫌いな人はいないと思っています。誰だって好きな曲、好きな音、好きなアーティストがいて、それを聴いて元気になったり、癒されたりしているはず。子どもたちにとって「音楽」が支えとなり、前に進むように後押ししてくれる存在であることが、私にとってなにより嬉しいことです。

学校での音楽の授業は、子どもたちの好きな音楽、自分を支えてくれる音楽がもつと溢れていくようなきっかけになればと思います。仲間と一緒に演奏することでしか学ぶことができないもの、楽しむことができないものがたくさんあります。それは音楽のハーモニであり、言葉にできないくらいたくさんあります。そんなたくさん



三年 副担任 平賀 碧

私は、小学校から高校までの十二年間を東京都の聖ドミニコ学園で過ごしました。英語との出会いは小学校一年生の英語の授業でした。当時の英語の先生が楽しく授業を進めてくださり、「教師」という職業を目指したのもこの頃です。

時は流れ、高校二年生のときの担任との出会いが私の人生を一変させました。彼女の専門教科は国語で、「教師」という職業に就いても専門教科の研究を怠らず、生徒一人一人の得意不得意な分野を全て把握していました。また、国語が苦手な私にも真剣に向き合ってください、適切なアドバイスをくださったそんな彼女にいつしか憧れを持つようになり、小さな頃から自分より年下の子に何かを教えることが好きだった私は、彼女と同じ

職業に就こうと考えました。そして、教師になる前に英語をさらに極めたいと思った私は、母と同じ津田塾大学の英文学科に進学しました。高校生のときから、母には「津田塾は英語教育が充実している。課題が多いから慣れるまでは大変だけど、その分英語を学ぶ楽しさを人一倍感じるができるよ。」と言われていました。いざ入学してみると、やはり授業はめまぐるしい速さで進み、一度の授業で出される課題も多く、初めはついていくのに必死でした。しかし、外国人の先生と英語で会話をしたり、同じ授業を履修している友人と課題をこなしたりすることで英語を学ぶ楽しさを再認識し、教師になったら英語を学ばせたいと思えました。

教師になってからおおよそ半年が経とうとしています。忙しい毎日を送っています。教師としてはまだまだ未熟ではありますが、「先生、大好き。」「先生と出会えて良かった。」「先生とこれからたくさんさんの思い出を作りたい。」と言ってくれる子どもたちの声を大切に、これから一緒に多くの思い出を作りたいです。



★学校見学について  
 【日程】  
 十月二日(水)～十月三日(木)  
 九時三十分～十二時三十分  
 【対象・申込み方法】  
 未就学児とその保護者、幼稚園や保育園の先生、その他、関心のある方。直接おいでください。  
 ★入試について  
 【募集人数】  
 一年生 四十名(男・女)  
 【願書受付】  
 九月九日(月)～十月二十八日(月)  
 ※土・日・祝日を除く。  
 【入試日】  
 十一月二日(土)



# 中学校

## 青野木合宿

一年 藤島 楓



(仙台市立原町小学校出身)

初日は自己紹介作文やドリームツリー制作をしました。また学校生活についての説明、

聖書や聖歌集について先輩が丁寧に教えてくれたため、今までの不安がなくなり、安心して学校生活が送れそうだと思います。二日目は、ゲームをしたり、部屋で友達とおしゃべりをして、一日目より、一層仲良くなれた気がしました。

青野木合宿で、オリエンテーションやゲーム、講話を通して、クラスメートや先輩方と仲良くなり本当に楽しかったです。最初は、ほとんどのいなかった友達も、帰るときには全員と友達になっており、本当にたくさんのお話を学んだ充実した二日間でした。



## 校外学習の思い出

一年 玉澤優佳子



(盛岡市立厨川小学校出身)

今年度最初の校外学習は動物園でした。特に心に残ったのは、自由時間中に見た

歩いているだけで、凄く迫力があつた虎でした。とてもかっこよかったです。近くで見ると普段気がつかない事や毛並みの美しさに気がつき、生で見ることの素晴らしさに改めて気がつきました。ほかにも、いろいろな動物を見たり触れ合ったり、とても楽しい時間を過ごせました。

次に心に残ったのは講話です。職員さんの講話を聞いてあまり知らなかった動物の飼育や生態、餌の種類をより一層詳しく知ることができました。

動物園に行つて、動物を見たり職員さんの話を聞いて勉強になったのもっと動物を大事にしようと思えました。



## 初めてのカヤック

二年 関井 涼楓



(多賀城市立山王小学校出身)

七月に行った野外活動で一番心に残っていることは、初めてカヤックに乗ったことです。

す。カヤックは一人乗りだったのですごく不安でした。慣れるまで何度も落ちそうになり恐怖との戦いでした。ふとしたことから周囲を見渡すと、大自然にかまれていることに気がつき、全身の力が抜けて上手に乗ることができました。自然を感じながら風をきつて漕いだことがとても気持ちよかったです。

その後は、みんなで水のかけ合いをして、全身が濡れてしまい、大変だったので、凄く楽しかったし、貴重な体験ができました。



## 悲願の優勝

三年 山下 紗知



(仙台市立新田小学校出身)

県大会優勝。それは、一年生の時からずっと目指していた目標でした。全員が本気で取り組み、日々納得のいく稽古を志し、

県大会では、想定外なこともありましたが、練習の成果を発揮し、三連覇を果たすことができました。

東北大会、全国大会では、私たちに携わってくださった全ての方に感謝し、宮城県代表として頑張ります。





語学研修を終えて

三年 剣持 燈



(仙台市立寺岡小学校出身)

四月、私達は語学研修としてブリティッシュヒルズに一泊二日で行きました。そこ

は、『パスポートのいらない英国』がコンセプトで国内で外国の文化を体感することができます。

ブリティッシュヒルズでは、外国人の先生やスタッフの方々と英語で会話をし、英語のコミュニケーション能力を高めました。また建物や家具の一つ一つまでが英国式で、英国の文化を学ぶことができました。その中でハリポッターの世界に出てくるようなコートが一番素敵でした。身近な英語を使う、貴重な体験でした。



最後のドミニコ祭

三年 菊地 彩加



(亘理町立亘理小学校出身)

私達三年生は、二年次に続き、「映えバエじゅーす」というジュースにゼリーなど

を入れてとても可愛い飲み物を提供するお店を開きました。去年のジュースにアレンジしようと思った。当日のギリギリまで話し合いをしました。また、装飾にもこだわり、多くの「映えスポット」を作り、前日遅くまで準備をしました。

そして迎えたドミニコ祭。不安がいつぱいでしたが、見事に完売でき、頑張った分だけ結果が残り、私達にとって充実したドミニコ祭となりました。



活躍するドミニコ生

○全国共通規定競技バトンコンテスト

ソロワール 初級 金賞

三年 網代 桃香

○第一回中学校剣道 みちのく剣道大会

女子団体 第三位 剣道部

○第二十七回遊佐中学校剣道錬成大会

女子団体 第三位 剣道部

○第六回東日本少年剣道錬成大会

中学生女子の部 敢闘賞 剣道部

○第六十八回仙台市中学校学校総合体育大会

剣道競技 青葉区

女子団体 第一位 【県大会出場】

女子個人 第一位 三年 山下 紗知 【県大会出場】

女子個人 第三位 三年 菊地 彩加 【県大会出場】

○第六十八回宮城県中学校学校総合体育大会

剣道競技

女子団体 第一位 (三年連続優勝)

女子個人 第一位 三年 山下 紗知 【全国大会出場】

【全国大会出場】

○令和元年度東北中学校体育大会

第四十三回東北中学校剣道大会

女子個人 第三位 三年 山下 紗知

(八月三十一日現在)

2020年度中学校生徒募集について (詳細は生徒募集要項をご覧ください)

|           |                         |                      |           |                        |                     |  |
|-----------|-------------------------|----------------------|-----------|------------------------|---------------------|--|
| 募集定員      | 男女合計30名                 |                      |           |                        |                     |  |
| 試験        | I期入学試験                  |                      |           | II期入学試験                |                     |  |
| 試験日       | 2020年1月7日(火)            |                      |           | 2020年1月29日(水)          |                     |  |
| 出願期間      | 2019年12月2日(月)～12月24日(火) |                      |           | 2020年1月15日(水)～1月24日(金) |                     |  |
| 出願区分・選考内容 | 推薦入試                    | 一般入試                 | スポーツ奨学生入試 | 推薦入試                   | 一般入試                |  |
|           | 面接                      | 適性検査<br>(総合問題)<br>面接 | 面接        | 面接                     | 基礎学力検査(国語・算数)<br>面接 |  |
|           | 面接は保護者同伴                |                      |           | 面接は保護者同伴               |                     |  |
| 合格発表      | 2020年1月8日(水)            |                      |           | 2020年1月30日(木)          |                     |  |



# 高等学校

## 「総合的な探究の時間」への取り組み

第一学年主任 小野寺 原

新学習指導要領により、今年度から「総合的な学習の時間」は「総合的な探究の時間」へと変わり、生徒の主体的な学びと探究活動が重要視されるようになりました。第一学年ではSDG(持続可能な開発目標)をテーマに取り上げています。

SDGは二〇三〇年までに解決を目指す地球規模的な諸問題を十七のテーマ(例えば貧困・保健と福祉・エネルギー・気候変動・ジェンダーなど)に区分し、それぞれのテーマを一六九の達成基準に細分化しています。

第一学年ではそのうち八つのテーマに絞り、生徒達はクラスの垣根を越えてグループを作り、各自で探究するテーマを決めて、それについて探究学習して自分たちが考え得る解決策をプレゼンテーションしてゆきます。この活動が、生徒の自主的な探究姿勢、社会参加意識そして進路発見に繋がってゆくように、学年教員はサポートしてゆくつもりです。



## 保育体験学習に参加して

幼児保育進学コース 千葉理緒奈 (高崎中学校出身)

私は、七月上旬に北仙台幼稚園のお泊り保育の体験学習に参加しました。体験学習では、先生の裏方の仕事や子供たちのサポート、後片付けなど普段知ることのできない多くの体験をすることができました。この体験を通して、先生の仕事の大切さや大変さだけでなく、



その中にある子供たちと関わる楽しさを改めて知ることができ、幼稚園の先生になるために、これからもっと頑張ろうと思いました。

## 今後の目標

キャリアデザインコース 梁 静羅 (うかし台中学校出身)

私の目標は、主に物的に物事を判断し、行動できるようにすることです。そのためには、内容をしっかりと理解することが大切。物事をしっかりと理解し、正しい判断をするための第一歩として、新聞記事を読んで、それを要約し、感想を書くことを始めました。世の中の出来事を知る良いきっかけにもなり、自分の意見をしっかりと話せるようになることを目指しています。



## 七夕まつりボランティアに参加して

三年 高木 希実 (住吉台中学校出身)

高校三年生は、仙台七夕まつり期間中観光案内所でボランティア活動を行いました。活動内容は、うちわとパンフレットの配付と、道やお店を尋ねる方への地図を使っている説明です。七夕まつりのスタンラリーには、多くの方が参加していました。子ども達が真剣にスタンプを押している姿は、本当に可愛かったです。

私は、明るく笑顔で接すること、挨拶をすることを意識しました。笑顔でお客様と様々な話をするのができ、中には「暑いよね」「頑張ってるよ」と言ってくれて、うちわで私達を扇いで下さった方もいらっしゃり、とても嬉しかったです。

七夕まつりに来ている方々が楽しんでくれるのが私達にとっての喜びです。私達も、私達がわくわくする時間を過ごすことができました。そして、仙台七夕まつりは



多くの人々の活動によって、支えられている行事であることを、実感できた二時間でした。

## 国公立大学三名合格、多くの生徒たちが希望進路を実現できました

特別進学コースリーダー 阿部 博子

平成最後の卒業生たちが大輪の花を咲かせてくれました。特進コースで三年間頑張り抜いた生徒の多くが希望進路を達成しています。今年度のドミ祭には沢山の卒業生が、進学先での様子を伝えるにきてくれました。

さて、今年度は八名の新入生を迎え、二年生二十三名、三年生十八名の合計四十九名で令和元年度が始まり数ヶ月が経ちました。a・b系制廃止と総進コース新設に伴い、例年よりも人数は少なくなりましたが、更にパワーアップしています。三年生は本格的な受験シーズンに入り、勉強漬けの夏休みを過ごしました。二年生は所謂「中だるみ」からはほど遠い日々を過ごしています。たるみまくり、緩みまくりの生徒が一人もいないとは言いませんが、早晚例外なく受験生になっていくことでしょう。一年生は高校生活への適応期間を終え、連日の課題に追われつつも、楽しそうに毎日を過ごしています。特筆すべきことは、今年度一年生から夏休み中の授業が始まったことです。国・数・英三科目十五日間、毎日六時間の授業が実施されました。体育や芸術等の実技科目がないことに一時絶望の声が上がりましたが、猛暑の中最後まで頑張り抜き、「楽しかった」「もっとやりたい」と、晴れ晴れとした笑顔で最終日を迎えることができました。

写真は、「到達度テスト振り返り会」の場面、各自の弱点を確認して学習計画を立てる方法を学んでいるところです。大切なことは、自分の弱点を知り、ひとつひとつ克服し、そうすることによって自分の限界を越えていくこと。これからの特進コースは限界に挑戦し続けます。



## 夏の学習合宿

総合進学コース・リーダー 小野寺 原

今年度より、高校では新たに「総合進学コース」が設置され十六名の生徒を迎えました。しかし一年次は特進コースを除いた三コースの混合クラス編成になっています。私が組担任を務める一年二組は総合進学コース全員と幼児保育進学・キャリアデザインコースが数名ずつ集まった混合クラスです。総合進学コース生は大学進学や看護専門学校進学という目標を持っているので、学習意欲も大変高い生徒ばかりです。

コースの特徴として、アクティブ・ラーニングやグループ学習を主軸にした授業を行っておりますので、そのスピントップとして生徒達に学習合宿を提案したところ、クラスその他コース生も含めて八名の参加で実施しました。学習は自習を原則に、生徒同士で教え合い学び合って学習を進めました。夏休み明けの模擬試験を目標に勉強していた生徒が多かったようです。三食すべて自炊だったので、共同作業を通じても得るものがあつたようです。



## 保育実習で学んだこと

幼児保育進学コース 三年 森田結菜 (広瀬中学校出身)

私は七月中旬に聖ドミニコ学院幼稚園のお泊まり保育の体験学習に参加しました。この体験を通して子どもたちの頑張る姿にたくさん接することができました。「森の散策」では急な坂道を何回滑っても泥んこになりながら諦めず登る姿や、包丁を使って野菜を切る時に真剣な表情で一つ一つ丁寧に切る姿を見てとても感動しました。そして、このような子どもたちが成長できる場を作るのも先生の役目の一つだと考えるようになりました。保育者は子どもたちの命を守る大変責任のある仕事ですが、毎日子どもたちの成長していく姿を見ることができると素直な仕事だと思っています。

お泊まり保育の二日間、子どもたちと関わっ



て無邪気な笑顔にとっても癒やされたり、より一層幼稚園教諭になりたいという気持ちが高まりました。これから保育の学びを深めながら、子どもたちの成長を支えられるような保育者を目指していきたいと思います。

### ドミニコの森

**キャリアデザインコースリーダー 及川 俊浩**  
 キャリアデザインコースでは二年生から社会人講座「ドミニコの森」を実施しています。社会で活躍されている方を講師として招き、その道の知識や技を教えて頂く事になっています。今年度は二年生が「働くこと」学ぶことをテーマに講師が来校して授業をするだけではなく、こちらから大学に向いて学問や職業（看護や福祉）についての受講することを試みています。三年生は社会に出る準備として、身につけておきたい教養をテーマに展開しています。

どちらの学年も普段学ぶことが出来ない分野の内容を座学や実習を通して体験し、将来社会に出たときに役立てられるように毎回努力している姿が見られます。



### 「放送が好き！」をエネルギーに

**放送部三年 白倉向日葵**  
 (聖ドミニコ学院中学校出身)

私は幼い頃から人前で話すことが好きで、小学生の頃からドミニコの放送部に入学しようとして決めていました。「放送が好き」という気持ちだけで続けてきましたが、公式の大会で良い成績が残せず退部を考えたこともありましたが、高校一年の夏、私は宮城で開催された全国高総文祭の放送部門に生徒スタッフとして参加し、初めて全国レベルのアナウンスや朗読の発



表と接することができました。その時から全国大会出場を目指す気持ちが沸き上がっていったように思います。

二年生の秋、県新人大会朗読部門で約七倍の難関の予選を突破、決勝大会でも上位十二名の中に食い込んで東北大会初出場を果たすことができました。高校三年のNHK杯放送コンテスト県大会朗読部門でも約十一倍の難関を突破し決勝に進出しました。全国大会出場という夢は叶いませんでしたが後悔はありません。「放送が好き」という気持ちが後押しを失うこと無く最後まで懸命に走りきることができたからです。応援してくださった皆さん本当にありがとうございました。

### ドミニコ祭を終えて

二年一組 星 愛夏  
 (多賀城東中学校出身)

私達生徒会執行部は四月からドミニコ祭に向けて準備をしてきました。振り返ってみると大変な事も沢山ありましたが本当に多くの人に助けてもらえたと思います。

テーマやポスター、看板デザインには例年よりも多くの人が応募してくれました。また、有志団体募集の対応は執行部員全員が協力して仕事を進める事が出来ました。実行委員の皆さんとも部活動や有志参加の準備で忙しい中、遅くまで一緒に頑張りました。

ミス・ミスターコンテストでは照明を使うことになり、そこでは先生方に助けていただき、とても盛り上がり無事に終わることができました。当日は、多くのハピニングもありましたがみんなと協力して、乗り越える事ができました。

今回は初めて運営する立場になり、ドミニコ祭に向かってみんなが協力している姿を見てとても嬉しく感じました。たくさんのご協力ありがとうございました。



今後とも生徒会執行部の活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

### 活躍するドミニコ生

- 第十七回全日本バトントワリング選手権宮城県大会  
ソロトワール 女子U-18部門 第一位 二年 清野 絢花
  - ダンストワール 女子U-18部門 第一位 二年 清野 絢花
  - 全国共通規定競技バトントワリングコンテスト  
ソロワール 初級 金賞 二年 山内 愛美
  - 第十五回謙信公杯争奪高等学校剣道大会  
女子団体 第一位 剣道部
  - 第四十五回宮城県高体連仙塩支部剣道大会  
女子団体 第一位 剣道部
  - 女子個人 第一位 浅野 詩奈
  - 女子個人 第三位 二年 菅原 尚央
  - 仙台市私立高等学校女子バレーボール  
春季大会40年記念大会 功績賞 三年 森田 結菜
  - サイブ賞 三年 種市 海来
  - 第十三回瑞穂杯争奪剣道大会  
女子団体 第二位 剣道部
  - 二部トーナメント女子 第二位 剣道部
  - 第六十八回宮城県高等学校総合体育大会 剣道競技  
女子団体 第二位 【東北大会出場】
  - 女子個人 第二位 二年 菅原 尚央
  - 【全国大会・東北大会出場】
  - 女子個人 第三位 二年 内田 美空
  - 【東北大会出場】
  - 女子個人 第三位 二年 岩井 南美
  - 【東北大会出場】
  - 第六十六回NHK杯全国高校放送コンテスト  
宮城県大会 朗読部門 優良賞 三年 白倉向日葵
  - 第七十四回国民体育大会宮城県予選 剣道競技会  
少年の部 女子 第三位 二年 岩井 南美
  - 第五回仙台大学心池会杯争奪剣道大会 高等学校  
女子 優勝 剣道部
  - 二〇一九年度ジャパンカップ  
個人高校生バトントワリング  
一二年の部 第八位 二年 清野 絢花
  - 第五十二回仙台市少年剣道錬成教室大会  
高校生女子の部 優勝 剣道部
  - 宮城野書人界学生展 創文印刷出版賞 三年 山田 優唯
  - 第四回 宮城地区 学生いけばな競技会  
団体 準優勝 華道部
  - 個人 準優勝 三年 野村 更紗
  - 個人 準優勝 三年 小野寺小雪
  - 家元特別賞 三年 野村 更紗
- (八月三十一日現在)

### 2020年度高等学校生徒募集について (詳細は生徒募集要項をご覧ください)

|      |   |       |  |          |
|------|---|-------|--|----------|
| 科    | 普通科   |       |  |          |
| コース  | 特別進学  | 総合進学  | 幼児保育進学   | キャリアデザイン |
| 定員   | 女子35名   | 女子35名 | 女子25名  | 女子60名    |
| 試験   | 推薦入学試験  |       | 一般入学試験   |          |
| 試験日  | 2020年1月15日(水)   |       | A日程 2020年2月4日(火)<br>B日程 2020年2月6日(木)   |          |
| 出願期間 | 2019年12月23日(月)～27日(金)、2020年1月6日(月)～8日(水)<br>※土日祝日、12月25日(水)は除く、ただし、12月27日(金)は午前のみ |       | 2019年12月23日(月)～27日(金)、2020年1月6日(月)～24日(金)<br>※土日祝日、12月25日(水)は除く、ただし、12月27日(金)は午前のみ |          |
| 選考内容 | 面接試験  |       | A日程・B日程ともに国語・英語・数学の学力試験  |          |
| 合格発表 | 2020年1月16日(木)   |       | A日程・B日程ともに2020年2月10日(月)  |          |



自律を目指す

小学校校長 土井 智子



小学校の教育目標には、「目指す子供」という項目があり、その中で、「自律を目指す子供(自分で考え、判断し、実行し、その責任をとる)」を挙げています。子供は、日々の生活の中で様々なことを経験し、育つていきます。良い体験や貴重な経験、周りから褒められるような嬉しい事も多くあります。同時に、遊びに夢中になってやるべきことを忘れてたり、言葉足らずの表現で相手

日常生活の練習の目的と意義

幼稚園園長 森本 幸子



子どもたちが入園・進級してから半年になります。聖書に「成長する種」のたとえ(マルコ四二六二九)があります。「夜昼、寝起きしているうちに、種は芽を出して成長するが、どうしてそうなるのか、その人は知らない」。まさに、子どもたちの中に起きていることです。そこで、その成長を促す要因の一つとして考えられるモンテッソーリ教育の日

あえてアナログに

北仙台幼稚園園長 齋藤 潤子



「すぐ役立つ」とはすぐに役立つことなく、時間をかけて身につけていったものは生涯忘れない」という意味の事を最近また聞きました。現在時間をかけて身につけていくものや、人その人の財産になっていくものは何だろうと改めて考えてみました。デジタル化が進み、より速くより正確により多くと求める現在の風潮に戸惑い

を傷つけてしまったり、興奮してはしゃぎまわり場に応じた行動がとれなかったり、失敗することも少なくありません。その結果、悔しい思い、悲しい思い、時には理不尽と思う体験をします。

私たちが周りにいる大人は、自分の経験から「子供の失敗を未然に防ごう」とします。「○○しない」「○○の準備は？」、次々に指図して、物事がスムーズに進むように、子供が困らないように、悲しい思いをしないようにと心を配ります。そして望ましい行動がとれたという結果に満足します。思うように進めることができなかつた時に、「何故そうだったのか」と理由を求めます。

日常生活の練習について考えてみたいと思います。子どもたちは、今後増々、バイチャル・リアリティーの世界に住むであろうからこそ、現実の世界と直接繋がる必要があると思うのです。日常生活の練習は、あらゆる運動の獲得と洗練された運動を繰返しの活動の中で完成させていきます。さらに子どもにも運動の技術だけでなく、知的レベルの技術を促します。それは機能的自立に繋がり、日々の生活に参加することで、子どもたちに自分の活動が価値あるものだというメッセージが伝わります。さらに文化の習得、言語の習得が豊かに展開されます。自ら選択した活動を熱心に行い、その活動を達成させること自体が、子どもに十分な満足

ながらも、多くの人をその波に飲み込み、波に乗れない人々を取り残してしまっているように感じられます。

例えば、物事の判断では早く結果を求め、順序だてて考える・相手を思いやっで考える事より、良いか悪いか・右か左かどちらかを二者択一でしか選べないように狭くしていると感じる時もあります。それが人々からコミュニケーションの力や考える余裕を失い、人間関係を希薄にしているように思えるのです。幼い頃の五感(視・聴・嗅・味・触)を通じた体験はすべてアナログです。それにつながる子どもたちの心に残る思い出。両親や兄弟姉妹との何気ない時間。子ども「なぜ？」に何度も同じ応えを繰り返り返

年前とそれほど変わりません。「子供だから」と許してもらえない時間は限られていて、失敗しないうちに導かれては、大切な経験ができません。困った体験を通して準備を覚え、失敗して落ち込むことで、弱者の思いを知ることもできます。幼いなりに、諦めも経験します。

心も体も成長が著しい学童期の子供たちに、考え、判断、実行、責任を求めることは大人が子供を信用することから始まります。それは、放任とは全く違います。失敗を失敗で終わらせず、そこから良いものを学び取る力を子供は持っているという信念と信頼をもって、カトリックの学校は指導しなければならぬと考えています。

感を与えることを日々保育で実感します。この様に日常生活の練習は、子どもの内面に自信や自己信頼感、自己肯定感等を育むことにもなるのです。

最近、日常生活の練習が高齢者や認知症の方々にしても、人生に目的を与え、日々の生活に関連性を持たせてくれることが言われています。人間は最初の段階で自信や自己肯定感が大切なのに、人生の終盤においてスタットし、最期も他者に依存しなければならぬ存在です。しかし、その最初と最後の両極において「日常生活の練習」の活動が、人生に活力と喜びをもたらすものとなることから大いなる希望があると思います。

す忍耐力。食べてくれる人を思い時間をかけて作る料理・良い環境を整える掃除の時間など。かわりを待つ人たちが、子どもたちと共にアナログの時を過ごしてあげたいです。

幼児期の体験が人間として必要な知識や基本となることを今、時間をかけて学ばせてくれるのですから、個性を持った子どもたちに丁寧に関わること、慈しむこと。昨日よりは今日、今日より明日というように、あえてアナログ的に子どもたちとかわることが大切ではないかと感じています。

幼稚園 募集要項

聖ト三三三学院幼稚園

二〇二〇年度(令和二年)度

園児募集日程

- 願書配布開始 十月 一日(火)
- 入園説明会 十月 九日(水)
- お楽しみイベント 十月十八日(金)
- 体験入園 十月十一日(金)
- 願書受付・入園面接 十月十六日(水)
- 願書受付・入園面接 十一月一日(金)
- キッズプレイデー 十月十五日(火)
- アニマルランド 十月十八日(金)
- 願書受付 十一月一日(金)
- 入園面接 十一月二日(土)

二〇二〇年度(令和二年)度

園児募集について

- ◎満三歳児(四年保育) 一〇名
- ◎一〇七年(平成九年)四月 百〇名
- ◎一〇八年(平成一〇年)四月 百〇名
- ◎三歳児(二年保育) 三十五名
- ◎一〇六年(平成八年)四月 百〇名
- ◎一〇七年(平成九年)四月 百〇名
- ◎四歳児(二年保育) 若干名
- ◎一〇五年(平成七年)四月 百〇名
- ◎一〇六年(平成八年)四月 百〇名
- ◎五歳児(一年保育) 一〇名
- ◎一〇四年(平成六年)四月 百〇名
- ◎一〇五年(平成七年)四月 百〇名
- ◎一〇六年(平成八年)四月 百〇名
- ◎一〇七年(平成九年)四月 百〇名

入園願書受付)十一月一日(金) 七時三〇分

提出物)入園願書、家族写真

検定料(五千円)

入園面接 親子面接

(二〇分程度)

入園手続き

入園許可となつた方は、入園料(無償化に相当)教育充実資金(三万円)

教育充実資金(三万円)

用品注文)カバン・上靴

お道具等

詳しくは、募集要項をご覧ください。

北仙台幼稚園

二〇二〇年度(令和二年)度

園児募集日程

- 願書配布開始 十月 一日(火)
- 入園説明会 十月 八日(火)
- 見学会 十月 三日(木)
- 体験入園 十月 四日(金)
- 願書受付 十月 七日(日)
- 願書受付 十月 八日(火)
- 願書受付 十月 十日(木)
- キッズプレイデー 十月十五日(火)
- アニマルランド 十月十八日(金)
- 願書受付 十一月一日(金)
- 入園面接 十一月二日(土)

二〇二〇年度(令和二年)度

園児募集について

- ◎三歳児(三年保育) 四十名
- ◎一〇六年(平成八年)四月 百〇名
- ◎一〇七年(平成九年)四月 百〇名
- ◎四歳児(二年保育) 十名
- ◎一〇五年(平成七年)四月 百〇名
- ◎一〇六年(平成八年)四月 百〇名
- ◎一〇七年(平成九年)四月 百〇名

入園願書提出日)十一月一日(金) 午前九時~十時

提出物)入園願書、家庭状況調査票、誓約書・スクールバス申込書

検定料(五千円)

入園面接

(二十分程度)

入園手続き

入園許可となつた方は、教育充実資金(三万円)

教育充実資金(三万円)

を納入。

その後用品注文、採寸等を行います。

